



雀宮中だより

第 3 号

令和6年 5月27日 (月)

発行責任者 金橋由美子

体育祭の取組を紹介します

○シンボルマークとテーマが決まりました。



バトンをつなぎ絆を深めたいと思い、走り出す瞬間のシューズで、全力という気持ちをデザインしました。

外山 愛梨さん (1-3)

「新たなスタートで始まる 最高の笑利」
竹井 莉奈さん (3-2)

新しい環境で不安や緊張の中、クラスで目標に向かう体育祭で、全員が笑って最高の思い出になるといいなと思います。

○「雀中そーらん演舞」が体育祭で披露されたのは 2005 年、今年で 20 年目になります。当時は、手作りの青色たすきを着用していましたが、2 年後、同窓会より黄色の法被を用意していただきました。このように「雀中そーらん」は本校の歴史と伝統、生徒・教職員・保護者・地域の愛情と誇りです。私は、「そーらん大将」の真船煌大さん、リーダーの佐藤広夢さん、天野元気さんに卒業アルバムを見せながら当時の様子を話したところ、感慨深げに聞いていました。

令和 6 年度子どもたちが、充実感と達成感を楽しみながら披露することが、何よりの願いです。

○5月23日(木)晴天のもと、体育祭が実施されました。特に「雀中そーらん演舞」は迫力があり、たくさんの拍手に満足感を味わったようでした。保護者や地域の方々には、子どもたちの様子にお褒めの言葉をいただき、有難く思いました。当日の様子は、学校HPをご覧ください。



